

令和5年度当初予算案における主要な施策

部 局 名
県 民 生 活 部

新規事業及び重要事業総括表

I 総額

【一般会計】

区 分	令和5年度	令和4年度	伸び率
予算総額	12,960,304千円	10,185,880千円	27.2%
一般会計構成比	0.6%	0.5%	—

新規事業及び重要事業総括表

(単位 千円)

II 主な新規事業及び重要施策

1 県民の暮らしの安心確保

P 5		防犯のまちづくりの更なる推進	【防犯・交通安全課】	38,473
P 6	新規	高齢者の交通安全対策の推進	【防犯・交通安全課】	9,851
P 7	一部新規	消費者被害対策の推進	【消費生活課】	151,871

2 未来を創る子供たちの育成

P 8		未来を創る子供たちの育成	【青少年課】	4,981
-----	--	--------------	--------	-------

3 人生100年を見据えたシニア活躍の推進

P 9	一部新規	埼玉未来大学によるシニア活躍支援	【共助社会づくり課】	93,263
-----	------	------------------	------------	--------

4 誰もが活躍し共に生きる社会の実現

P 10	一部新規	DV被害者等への支援の促進	【人権・男女共同参画課】	53,583
P 11	一部新規	性の多様性を尊重した社会づくりの推進	【人権・男女共同参画課】	25,858

5 支え合い魅力あふれる地域社会の構築

P 12		身近な外国人を支援するボランティアの育成	【国際課】	3,663
P 13	新規	バーチャル空間における魅力発信	【県民広聴課】	36,260
P 14		効果的な広報の実践	【広報課】	8,016

新規事業及び重要事業総括表

(単位 千円)

P 1 5	一部新規	文化芸術の振興	【文化振興課】	5, 0 9 5, 3 7 8
P 1 6		屋内50m水泳場の整備	【スポーツ振興課】	2 3, 3 7 0
P 1 7		スポーツ科学拠点施設の整備	【スポーツ振興課】	4 1, 3 8 6
P 1 8 ~ 1 9	一部新規	スポーツの振興	【スポーツ振興課】	7 4 2, 3 8 9

担当 防犯・交通安全課 防犯・犯罪被害者支援担当
内線 2942、2945

目 的

第4期「防犯のまちづくり推進計画」に基づき、防犯のまちづくりを更に推進して安全・安心の確保を図る。

事業概要

1 防犯環境の整備

35,143千円

(1) 市町村と連携した防犯環境の整備 30,000千円

- ・ 犯罪の抑止効果及び社会的関心が高い防犯カメラの公共空間への設置事業への補助
- ・ 犯人からの電話をシャットアウトできる特殊詐欺対策機器の普及促進事業への補助
- ・ 自主防犯活動団体（わがまち防犯隊）の活動支援事業への補助



特殊詐欺対策機器



街頭防犯カメラ

出典:埼玉県警察ホームページ

(2) 自主防犯活動の活性化 3,376千円

- ・ 県民の自主防犯活動において、青パト活動を開始する団体等への青色回転灯等装備品の提供
- ・ 防犯協定締結事業者による地域の見守り活動の推進



青パト装備品の提供

(3) 重点犯罪等抑止対策 1,767千円

- ・ 被害が増加している特殊詐欺や自転車盗などの被害防止啓発チラシ等の作成・配布

2 防犯のまちづくりの推進

3,330千円

(1) 防犯のまちづくりの普及啓発等 1,802千円

- ・ 市町村等と連携した各種犯罪被害防止に資するキャンペーンの実施
- ・ 県民、事業者等に対する出前講座、現地指導等の実施



防犯キャンペーン



出前講座

(2) わがまち防犯隊レベルアップセミナーの開催等 714千円

- ・ 自主防犯活動団体「わがまち防犯隊」に対するレベルアップセミナーの開催
- ・ 防犯サポーター等に対する情報発信等の実施

(3) 事業者等との連携による防犯活動の推進等 814千円

- ・ 防犯のまちづくり推進会議総会の開催
- ・ 防犯協定締結事業者等と連携した防犯活動の実施及び協定締結事業者の拡大



防犯協定締結式

新規

担当 防犯・交通安全課 総務・交通安全担当
内線 2960

目的

高齢者に対し、加齢による身体機能の衰えの自覚を促すとともに、正しい横断方法等の交通ルール、自転車乗用中の注意点などを学べる交通安全教育を実施し、高齢者の交通事故の防止を図る。

事業概要

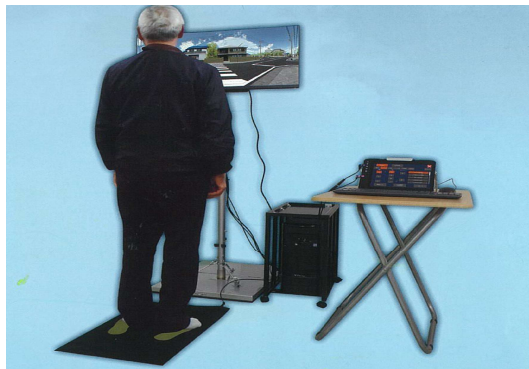
高齢者を対象とした総合的な交通安全教育の推進

9,851千円

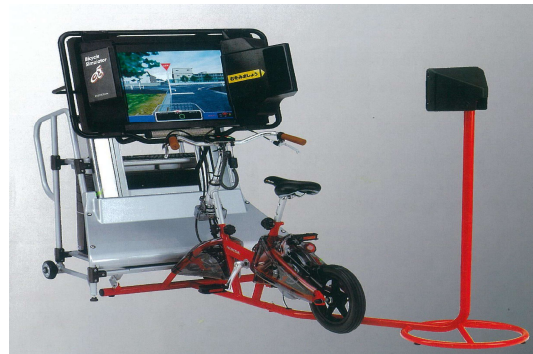
(1) 高齢者講習施設*における体験型機器を活用した交通安全教育の実施（新規） 8,522千円

- ・ 体験型機器を活用した交通安全教育
導入予定機器：歩行者横断体験シミュレーター、交通安全自転車シミュレーター、SAFETYドライブチェッカーなど
- ・ リーフレットの配布
高齢者の交通事故発生状況などを掲載したリーフレットにより啓発
- ・ 免許返納支援施策や、各市町村が実施している各免許返納支援施策の紹介
- ・ 施設周知のラジオスポットCMの制作・放送
ラジオのスポットCMを制作し、同体験型施設の周知についての情報発信

※令和6年度開設予定



歩行者横断体験シミュレーター



交通安全自転車シミュレーター



SAFETYドライブチェッカー

(2) 県政出前講座による交通安全教育の実施 1,329千円

- ・ 身体機能や認知機能の衰えによる事故防止上の注意点など、高齢者の特性に応じた交通安全教育の実施

一部新規

担当 消費生活課 総務・企画調整担当
内線 2941

目的

消費者の安心・安全を確保するため、県・市町村の消費生活相談体制の充実・強化を図るとともに、消費者啓発の推進や悪質事業者に対する行政指導・処分を行う。

事業概要

1 消費者行政の活性化	38,070千円
(1) 消費生活相談窓口の強化	5,818千円
・消費生活相談員のレベルアップ研修や市町村相談窓口への支援の実施	
(2) 消費者啓発・広報の推進	31,229千円
・学校等と連携した消費者教育、県民の消費者被害防止を図るための啓発・広報の実施	
・消費者志向経営の推進	
(3) 事業者指導の強化	1,023千円
・悪質事業者に関する情報収集及び調査を行い、事業者指導・処分の実施	
2 高齢者等の見守り促進	18,296千円
(1) 高齢者等の見守り促進	12,160千円
・「見守り推進員」の配置、市町村に対する消費者安全確保地域協議会の設置支援	
(2) 消費者被害防止サポーター活動推進	5,954千円
・サポーター養成講座、フォローアップ研修の実施等	
(3) 高齢者の消費者被害防止フォーラムの開催	182千円
・市町村の福祉部門と消費生活部門の連携強化に向けた情報交換による、地域の見守りネットワーク活動の支援	
3 消費者行政の活性化(市町村補助)	95,000千円
(1) 消費者行政の活性化の取組を行う市町村に対する補助	95,000千円
4 消費生活相談体制の強化	505千円
(1) 消費生活相談員確保対策(新規)	205千円
・消費生活相談員人材バンクの設置や就業支援研修、就業後のフォローアップ研修の実施	
(2) ICT対応相談手法の導入(新規)	300千円
・県がWeb相談、Web会議システム相談を先行導入し、市町村に周知	



高齢者を守るお助けかわらばん



サポーターフォローアップ研修の様子

担当 青少年課 健全育成支援担当
内線 2357

目的

次代を担う子供たちを対象に、企業や大学等と連携した体験活動の機会を提供し、夢の実現を支援する。
また、企業等が主体となって実施する体験活動の広報支援等を通して、体験機会の創出と機運醸成を推進する。

事業概要

子供たちの夢の発見・実現の支援

4,981千円

(1) 企業・大学等と連携した体験活動の機会の提供 4,981千円

- ・リアル体験教室（県と企業等との共同運営型）の実施
- ・リアル体験教室プレミア（企業等による自立運営型）の広報支援

〔対象〕

県内在学在住の小学4～6年生
児童養護施設、ジュニアアスポート教室等の優先枠を設定

〔募集〕

小学校を通じ、小学4～6年生全員にチラシを配布
児童養護施設、ジュニアアスポート教室等を通じ体験活動の機会に
恵まれない子供の参加を促進

〔スケジュール（見込み）〕

令和5年	5月	6月	7・8月	9月	10月	11月	12月～
リアル体験教室	第1期募集 第1期申込 第1期抽選		第1期 教室開催		第2期 教室開催		第3期 教室開催
プレミア			第2期・第3期募集 第2期申込 第2期抽選	第3期申込 第3期抽選	随時開催		



リアル体験教室「建築家（大工さん）になりたい」



チラシ（前：第2・3期、後：第1期）

一部新規

担当 共助社会づくり課 NPO認証担当
内線 2834

目的

(公財) いきいき埼玉が実施する「埼玉未来大学」を通じ、シニアの「学び直し」と「再チャレンジ」を応援するとともに、元気なシニアが地域の担い手として活躍できるよう支援を行う。

事業概要

埼玉未来大学によるシニア活躍支援

93,263千円

(1) ライフデザイン科(一部新規) 6,293千円

・シニアライフを安心して暮らすための知識の習得に加え、健康習慣を楽しく身につけられる健康長寿プログラムを実施

新規・拡充内容

- 学習期間・カリキュラムの充実【拡充】
学習期間を半年から1年に延長、フィールドワークや体験型学習を強化
- オンラインコースの新設【新規】
いつでもどこでも学習できる機会を提供

(2) 地域創造科(一部新規) 26,174千円

・NPOの設立やソーシャルビジネスの立ち上げ・運営に関する専門的なカリキュラムを提供

新規・拡充内容

- 専門講座の新設【新規】
セカンドステージで農業に関わりたいシニア向けの講座を新設

(3) 埼玉未来大学の運営(一部新規) 60,796千円

・シニアの地域参加を促進するため埼玉未来大学の運営を支援
また、埼玉未来大学のコンテンツを活用した事業を実施

新規・拡充内容

- 令和6年度開設予定の高齢者講習施設で健康づくり・社会参加事業を実施するための機器を整備【新規】



埼玉未来大学の学習風景

一部新規

担当 人権・男女共同参画課 DV対策担当
内線 2925

目 的

SNS相談の実施により相談体制の充実を図るとともに、DV被害者や困難を抱える女性を支援する民間シェルター等の体制強化やDV被害者及び同伴児童へのケアの推進を通じ、DV被害者等への支援を促進する。

事業概要

1 ドメスティック・バイオレンス総合対策	29,463千円
(1) SNSを活用した相談体制の整備	25,245千円
・若年層がアプローチしやすくなるよう、SNSを活用した相談体制を整備、併せて相談窓口の利用の積極的な呼びかけ	
(2) 困難な問題を抱える女性への支援法(新法)に係る基本計画策定 (新規)	876千円
(3) 相談・保護機能の充実、予防啓発等	3,342千円
2 DV被害者等に対する自立支援強化	2,273千円
(1) 「自立支援サポーター」の養成・登録制度の運用、及びインターンシップの実施	1,467千円
・「自立支援サポーター」の養成・登録制度によるDV被害者等の自立支援活動の促進	
・インターンシップの実施による団体スタッフの定着化	
(2) 婦人相談センター「生活リスタート準備講座」の実施	806千円
3 民間団体によるDV被害者支援	17,836千円
(1) 民間団体活動事業費補助等	3,670千円
(2) DV被害母子の心のケアを行う心理教育プログラムの実施	4,166千円
(3) 民間シェルター等の先進的取組を行う団体への事業費補助	10,000千円
4 DV対応と児童虐待対応との連携強化	4,011千円
(1) 同伴児への学習等の支援	511千円
・DV被害者に同伴する児童に必要な学習機会を提供するため、学習指導員の配置や学用品の提供など学習環境を整備	
(2) 民間団体による被害親子に対する心のケア等の継続的自立支援	3,500千円

DVお悩み
チャット@埼玉

一部新規

担当 人権・男女共同参画課 LGBTQ担当
内線 2927

目的

全ての人があらゆる場において性の多様性を尊重され、安心して生活できる社会の実現を目指す。

事業概要

性の多様性を尊重した社会づくりの推進

25,858千円

(1) 性の多様性に関する理解増進 (一部新規) 7,031千円

- ・性の多様性に関する正しい理解が進むよう、企業・県民向けに啓発を実施

新規・拡充内容

- 企業向け研修の実施【拡充】
動画配信による基礎研修に加え、講師派遣によるケーススタディを用いた実践型研修を実施
- アライ拡大に向けた取組【拡充】
医療機関や不動産業界向けにリーフレットを作成・配布
- 若者支援者向け講座の実施【新規】
LGBTQに配慮した対応を目指す、若者支援者向け講座を開催



企業向け研修リーフレット(イメージ)

(2) 性の多様性に関する相談体制の整備 16,270千円

- ・企業におけるLGBTQに関する取組を促すため、企業からの相談に対応
- ・誰にも相談できずに悩んでいるLGBTQ当事者等からの相談に、電話やLINEで対応

(3) 性の多様性に関する暮らしやすい環境づくり (一部新規) 2,557千円

- ・LGBTQが安心して生活できる環境づくりに向けた施策を検討するとともに、企業の取組を「見える化」

新規・拡充内容

- 埼玉県アライチャレンジ企業の取組の「見える化」【拡充】
LGBTQに配慮した取組を進める県内企業の先進事例をHPやSNSで情報発信するとともに、事例やノウハウを共有するための登録企業の交流会を開催



埼玉県アライチャレンジ企業シンボルマーク

担当 国際課 多文化共生担当
内線 2714

目的

身近な外国人を支援するボランティアの育成を通じ、県民誰もが多文化共生を担う地域づくりを進める。

事業概要

地域の多文化共生を担うボランティアの育成

3,663千円

(1) 「外国人お助けボランティア」育成研修の実施 3,663千円

- ・ 県民を対象として、日常生活で身近な外国人を支援するスキルを学ぶ研修を実施し、地域でのボランティア活動を促進
- ・ 県内市町村による研修の自主開催を支援

〔研修概要〕

- ・ 対象：身近な外国人の支援に関心のある県民（語学の知識・経験不問）
- ・ 場所：県内4か所（目標：400人育成）
- ・ 内容：日本人及び外国人講師による「ボランティアの心得」外国人にも分かりやすい「やさしい日本語」

※講座受講者を「外国人お助けボランティア」として認定



第1回外国人お助けボランティア育成研修の様子



受講者に認定バッジとデジタル認定証を交付

新規

担当 県民広聴課 魅力発信担当
内線 2867

目的

バーチャル空間を活用した新たな角度からの魅力発信により、埼玉の多彩な魅力を再発見してもらうとともに、バーチャル空間の特徴を活かした行政サービスを試行する。

事業概要

バーチャル空間における魅力発信 36,260千円

(1) ステージイベントの実施 (新規) 11,440千円

- ・埼玉にゆかりのある映画やアニメといったコンテンツの活用や、本県ゆかりのタレントや声優、V T u b e r とのコラボレーションなどによる魅力的なバーチャルライブの実施

(2) 体験エリアの設置 (新規) 8,030千円

- ・リアルな距離や空間に捉われず、楽しみながら県の魅力を再発見できるバーチャル体験エリアの設置
例) 埼玉の人気観光スポットを配置した迷路を、埼玉にまつわる謎を解きながら進む脱出ゲーム など

(3) 行政ブース・企業ブースの出展 (新規) 9,900千円

- ・県庁各課のブースや県内企業などのブースを設け、出展者が制作した動画の放映や画像を掲示するなどのPR
- ・出展者と参加者のアバターによる双方向のコミュニケーションの実現

(4) サーバー増設、ランディングページ作成等 (新規) 6,890千円

- ・ステージイベント等の参加者数増加に対応するためのサーバー増設やバーチャル空間へ誘導するための魅力的なウェブページの作成
- ・バーチャル空間を訪れたユーザーをおもてなしするための3Dアバターの製作



担当 広報課 企画調整・ウェブ担当
内線 2868

目的

デジタル媒体と広報紙・テレビなどの既存媒体の連携により、あらゆる世代をとりこぼすことなく県政情報を伝える。

事業概要

様々な広報媒体を通じた情報発信

8,016千円

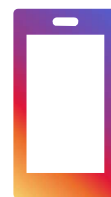
(1) 県公式 Instagram による県政情報の発信 8,016千円

- ・若年層が県の情報に触れるきっかけをつくるため、県公式 Instagram での魅力的な投稿を発端に県広報紙WEB版・県政広報テレビ番組 YouTube 版へ誘導

〔事業内容〕

- ・若年層へ向け、県公式 Instagram での情報発信を通年で実施
- ・投稿内容は、県広報紙「彩の国だより」や県政広報テレビ番組「いまドキッ！埼玉」のコンテンツから選定
- ・媒体の特性を踏まえ「映える^ば」記事を作成。その他重要な記事も投稿

県広報紙
県政広報テレビ番組



ば
「映える」記事を発信



※注: 「(Instagramで)映える^ば」とは、Instagramに写真を投稿した際に、ひときわ見栄え良くステキに見える(写真が映える)という意味で用いられる表現

一部新規

担当 文化振興課 総務・財団担当
内線 2878

目 的

彩の国さいたま芸術劇場の近藤良平芸術監督の下で県内各地を巡る「埼玉回遊」を実施し、地域の文化芸術団体等と協働で地域文化の掘り起こし・発信を行うとともに、新たな芸術表現活動グループの設立準備を行う。また、長期保全計画に基づき彩の国さいたま芸術劇場の大規模改修工事を実施する。

事業概要

1 社会課題の解決に貢献する芸術活動の推進

29,945千円

(1) 埼玉回遊の実施 (新規) 27,481千円

- ・ 近藤芸術監督が県内各地を訪問し、地域文化の新たな楽しみ方を提案・実演するとともに、地元の人々と一緒に、作品を制作、公演を開催
- ・ 地域文化の掘り起こしや地域コミュニティの活性化を通じた「地域貢献」の実践
- ・ 令和6年3月にリニューアルオープンする芸術劇場の更なる認知度の向上

(2) 多様な世代・属性による芸術表現活動グループ設立準備 (新規) 2,464千円

- ・ 年齢やジャンル、障害の有無などにこだわらないグループを令和6年度に設立するため、プレオーディションを兼ねたワークショップを実施
- ・ 誰もが文化芸術活動に参加できる場を設けることにより、多様な価値観を尊重し、他者との相互理解を深める「社会包摂」の視点を芸術劇場から発信



撮影:宮川舞子
近藤監督による
ワークショップの様子

2 彩の国さいたま芸術劇場の大規模改修

【継続費最終年次】5,065,433千円

(1) 彩の国さいたま芸術劇場の大規模改修の実施 【継続費最終年次】5,065,433千円

- ・ 彩の国さいたま芸術劇場は平成6年のオープンから30年近く経過しているため、長期保全計画に基づき、基幹的な設備の更新などの大規模改修工事を実施

〔全体計画〕

- ・ 事業期間：令和3年度～令和5年度
- ・ 総事業費：8,443,316千円
- ・ 休館期間：令和4年10月～令和6年2月（予定）

〔主な改修内容〕

- ・ 設備工事（電気、空調、衛生、舞台設備の更新）
- ・ 建築工事（吊り天井改修、内装改修、外壁改修、防水改修など）



芸術劇場外観

屋内50m水泳場の整備

【予算額】23,370千円 【債務負担行為】21,047,846千円

担当 スポーツ振興課 スポーツ施設担当
内線 6951

目的

県内初の公営屋内50m水泳場を整備し、競技力の向上につなげるとともに、国内主要大会を開催し、水泳の普及振興を図る。また、誰もが水に親しむ環境を創出し、県民の健康増進等を図る。

事業概要

1 屋内50m水泳場整備運営事業の推進

23,370千円

(1) 屋内50m水泳場の整備運営 1,359千円

- ・事業者との契約締結を目指し、屋内50m水泳場の整備、運営・維持管理業務をPFI事業として実施するため、令和5年度中に入札公告

(2) アドバイザリー業務委託 22,011千円

- ・事業の円滑な実施を図るため、事業者との契約締結までに必要な各種検討にあたり、専門的な知識・経験等を有する事業者にアドバイザリー業務を委託（令和4～5年度の2か年契約）



大会開催時の水泳場イメージ

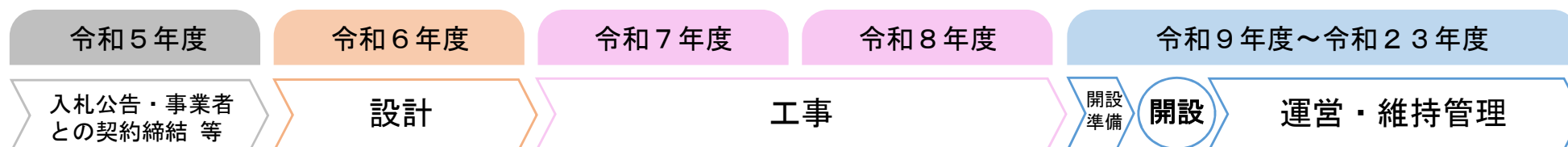
2 屋内50m水泳場の整備、運営・維持管理

【債務負担行為】21,047,846千円

(1) 屋内50m水泳場の整備、運営・維持管理 【債務負担行為】21,047,846千円

- ・令和5年度中に入札公告、事業者との契約締結に向けて、屋内50m水泳場の整備、運営・維持管理に係る債務負担行為を設定（債務負担行為の期間：令和5年度から令和23年度まで）

〔事業スケジュール〕



担当 スポーツ振興課 スポーツ施設担当
内線 6951

目的

スポーツ科学拠点施設を整備し、パラスポーツを含む多様な競技力の向上につなげるとともに、県民のスポーツ実施率の向上や健康増進等を図る。

事業概要

スポーツ科学拠点施設整備の推進

41,386千円

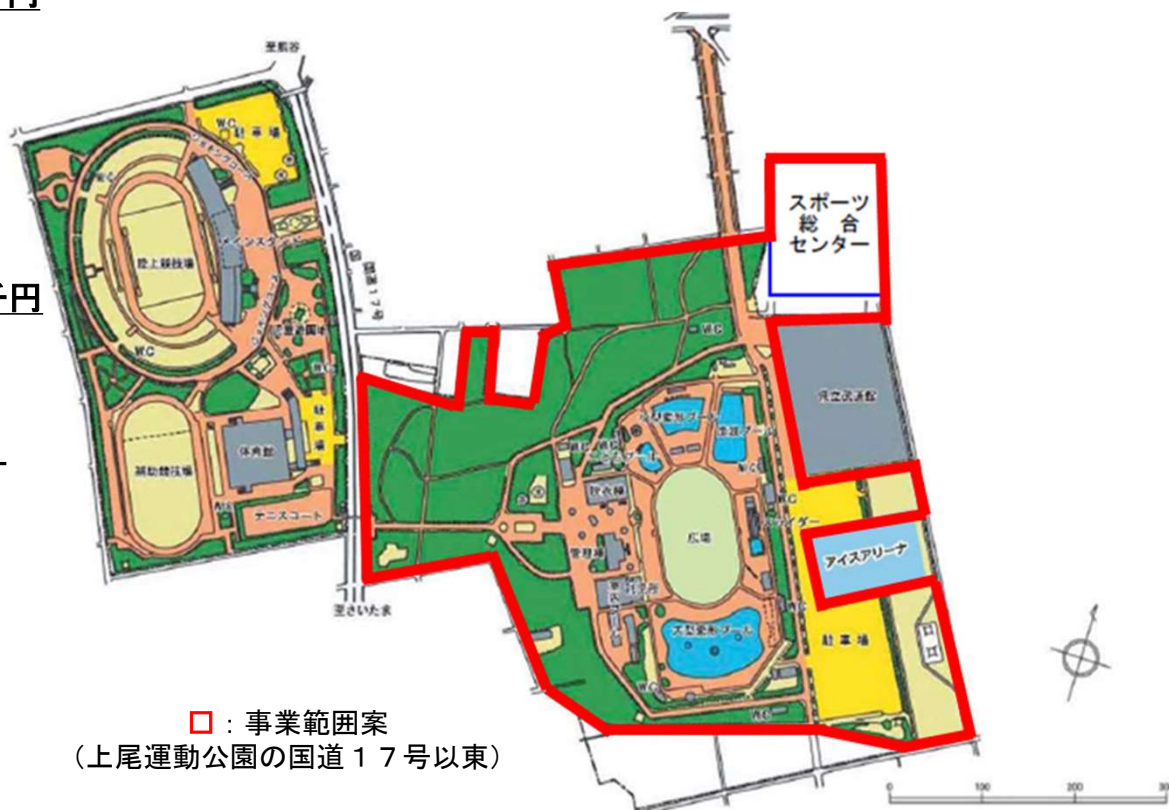
(1) スポーツ科学拠点施設整備 13,471千円

- ・スポーツ科学拠点施設を整備を上尾運動公園の再整備と一体となったPark-PFI事業として実施するための公募準備

(2) アドバイザリー業務委託 27,915千円

- ・事業の円滑な実施を図るため、事業者との契約締結までに必要な各種検討にあたり、専門的な知識・経験等を有する事業者と2か年（令和5～6年度）のアドバイザリー業務委託契約を締結

※令和6年度については債務負担行為（14,854千円）を設定



一部新規

担当 スポーツ振興課 パラスポーツ担当、競技スポーツ担当、生涯スポーツ担当、スポーツ施設担当
 内線 6998、6955、6953、6951

目的

オリパラアスリートへの一貫したサポートにより、トップアスリートの輩出を目指す。また、総合型地域スポーツクラブ等への支援や県内プロチームとの連携を通して、本県のスポーツの振興を図るとともに県立武道館の大規模改修を行い、県民が安心・安全に利用できる環境を整備する。

事業概要

1 競技力の向上

65,669千円

(1) オリパラ一体の埼玉トップアスリートの輩出 **【一部新規】** 65,669千円

- ・県ゆかりのアスリートがオリパラともに、国内主要大会・国際大会において活躍するために、スポーツ科学に基づく発掘・育成から強化支援まで一貫したサポート体制を整備

新規・拡充内容

- **パラスポーツ体験会・測定会の実施【新規】**
 競技人口の少なさを解消するための第1歩として、発掘による裾野の拡大
- **パラアスリートに対して専門家による個別サポートを実施【拡充】**
 スポーツ科学を活用した栄養指導やトレーニングメニューの作成等の専門家による個別サポート支援
- **健常者・障害者アスリートの交流機会創出【新規】**
 強化指定選手の認定証交付式・修了式の同時開催やメンタルトレーニング等に関する合同研修会を実施



【参考】令和4年度パラドリームアスリート認定証交付式の様子

2 地域スポーツの振興

9,229千円

(1) 総合型地域スポーツクラブ等への支援 **【一部新規】** 9,229千円

- ・総合型地域スポーツクラブ等の質的充実への支援により、身近な地域で多様なスポーツ資源が活かされ、県民がスポーツを継続できる環境を整備

新規・拡充内容

- **部活動の地域移行の推進【新規】**
 総合型地域スポーツクラブやスポーツ団体等が部活動の地域移行の受け皿となるようモデル実証事業を実施
 モデル実証事業の成果・課題を共有する地域ミーティングを実施



プロのコーチによる指導

3 プロチームとの連携

5,737千円

(1) 埼玉トップスポーツパートナーズとの連携 1,622千円

- ・県と県内スポーツチームが連携し、スポーツの魅力発信や地域の活性化・課題解決に取り組むとともに、県内スポーツチームを県民全体で応援する気運の醸成



プロチームによる卓球教室

(2) WEリーグと連携した埼玉女子サッカーの気運の醸成 4,115千円

- ・WEリーグに所属する県内3チーム、ホームタウン市、地元メディア等と連携し、継続的なWEリーグの盛り上げ及び女子スポーツの振興

〔事業内容〕

- ・WEリーグ気運醸成委員会の運営
- ・県内チーム同士の対戦「埼玉ダービー」の優勝者に知事杯を授与
- ・「埼玉ダービー」等の試合時にサッカー教室やイベントを開催



知事杯優勝者トロフィーイメージ



フォトスポットによるイベントの盛り上げ

4 県有スポーツ施設の活用

661,754千円

(1) 県立武道館の管理運営 121,816千円

- ・武道館の管理運営を効果的かつ効率的に行うため、指定管理者に委託

(2) 県立武道館の大規模改修工事の実施 539,938千円

- ・長期保全計画に基づく大規模改修建築工事等の実施

- 〔外部改修〕
- ・令和4年度 設計
 - ・令和5～6年度 工事 452,767千円（令和5年度実施分のみ）
 - 【主な改修内容】 外壁・屋根改修等
- 〔内部改修〕
- ・令和5年度 設計 87,171千円
 - ・令和6年度 工事（予定）
 - 【主な改修内容】 床張替、照明のLED化等



県立武道館外観